

オオタコゾウムシの散歩

(兵庫県甲虫相資料・279)

高橋 寿郎

1992年春、県立人と自然の博物館設立準備室を訪問した際、沢田佳久博士から烏原貯水池畔にこのゾウムシが多くいますよとカラーで撮影されたオオタコゾウムシ *Hypera punctata* (Fabricius, 1775) の写真を4枚頂いた。始めて見るゾウムシなので裏山のことであるから調べに行かなくてはと思いつつもその年は県下の他の地域での調査を引受けていたものだから調べに行くことが出来なかった。ところがその年の9月吾が家から歩いて10~15分位の街の中の歩道上で次のように歩いているこのゾウムシを3頭つかまえた。lex., 14-IX-1992, 兵庫区湊川町4丁目。lex., 18-IX-1992, 夢野町1丁目。lex., 3-X-1992, 菊水町2丁目(これらの標本は10月22日, 人と自然の博物館を訪問, 沢田佳久博士にオオタコゾウムシに間違いのないことを同定して頂き, 同博士の手許に保管して頂いている)。ところでこのゾウムシのことを蜂谷幸雄氏に話をしていた所, 同氏の次女幸^{あつ}サン(市立兵庫大開小学校3年生)が学校(兵庫区大開通4丁目)の2階のベランダの手摺で数匹採集されて飼育しているとのこと, 同時に男子生徒も同じく採集してその数は数十頭に及ぶと云うことを教えて頂いた(内死んだ1頭は筆者の手許に頂いている。採集日ははっきりしないが9月10-20日の間とのことであった)。さらに筆者の手許にある標本を調べて見ると次のような標本があった。神戸市西区伊川谷町前開 lex., 2-VIII-1988, lex., 28-IX-1988。神戸市兵庫区氷室町の自宅の物干場の洗濯物にきていたものと書いたラベルがついた1頭もあった(lex., 5-XI-1990)。このように見えてくると神戸市の兵庫区, 西区にこのゾウムシがいることになる。森本 桂博士の原色日本甲虫図鑑(IV)(1984)を見るとこのゾウムシの図説は無く, タコゾウムシ属の検索表には出て来るが“本州・ヨーロッパ・北アメリカ。日本への定着は不明”とある(p.285)。日本産昆虫総目録 I (p.503, 1989)にも分布は本州, ヨーロッパ, 北米となっている。神戸に何時頃からのゾウムシなのかわかるとも筆者の採集したのが1988年のものがあるのだからその頃には神戸にいたことになる。日本からの初めての記録は, 1979年横浜市が報告されており(WATANABE, 1979), それ以後の日本での記録は見られないようである。

神戸市の街の中に見ることが出来, またかなりの個体数が見られるということからして神戸市の裏山にはわりと広い範囲に分布しているのかもしれない。このあたりはもう少々詳しく調べる必要があ

りそうだ。沢田博士は、1992年、三田市でも見つけておられる。

このゾウムシは有名な Fabricius の命名種なので手許にあった Ella Zimsem の “The Type Material of I. C. Fabricius” (1964) を見てみると p. 217, No. 3754 に *Curculio punctatus* Fabricius, Syst. Ent. 1775, p. 150. 119 (Syst. El. II, 529, 133) Kiel 8 specimens とあり、この種のタイプ標本はキール大学に保管されているようである。ここでは属名が *Curculio* となっている。

A. Hoffmann の Faune de France, 59, Coleop. Curculionides. p. 575-576, 1954 に *Hypera zoilus* Scopoli, 1763. Ent. Car., p. 33=*punctatus* F., 1775, Syst. Ent. p. 150 とある。即ち *punctatus* は *Hypera zoilus* と同じだとなっている。そして図示されている図は *Hypera punctatus* といわれている種と違う図が示されている。ただしフランスには普通とも書いてある。

また、H. Hatch の The beetles of the Pacific Northwest part. V, 1971 を見ると (p. 287)。このゾウムシは clover leaf beetle とされていて1902年 Pacific Northwest の Victoria で記録されたのが始めてであるとされていて普通に見られる種とあり、さらに “It feeds on the stems and leaves of clover both as adults and larvae and may be injurious, but in the eastern United States is usually controlled by a fungus *Entomophthora sphaerosperma* Fres. (Titus 1911)” と書いてある。

図もついている (pl. 36, Fig. 5).

どうも神戸での採集の状況からして本種は飛翔してあちこちに動いているように思われるのだが今一つその生活史と云うか生態がよくわからない。沢田博士が目下飼育しておられるのでいずれ色々なことがわかると思われる。とりあえず神戸市に本種がいると云う報告だけしておく。

末筆になって大変申し訳ないが本種について色々御教示下されまた貴重論文のコピーを頂いた、人と自然の博物館の沢田佳久博士に厚く御礼を申しあげさせて頂く。

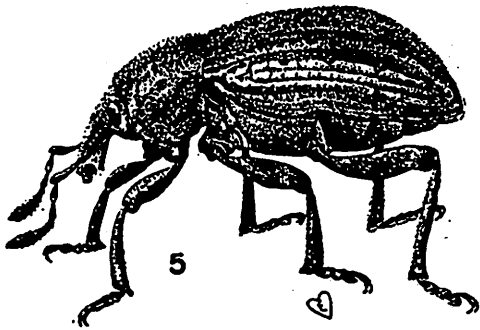


図 3. *Hypera punctata* (Fabricius, 1775)
Hatch, 1971